

業務名（業務コード）			貨物取扱確認登録（改装・仕分）（CFS01）																		
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰 1	繰 2	条件												コード	入力条件／形式
1		入力共通項目		an	398			M													
2		取扱確認変更表示	CFM	an	1			C											貨物取扱で改装・仕分したものと、実際の取扱確認とが異なっている場合は、「Y」を入力		
3		増加仕分数	SWS	n	3			C											（１）仕分数に増分がある場合に入力 （２）情報仕分けの場合は、入力不可 （３）増加仕分数が登録されている場合 ①入力が省略された場合は、登録されている増加仕分数を処理対象とする ②入力された場合は、登録されている増加仕分数と等しいこと		
4		AWB番号（仕分け親）	AWM	an	20			M													
5	8	追加表示（仕分け子）	ADD	an	1			C											（１）CHS業務で仕分けた仕分け子の場合は、スペースであること （２）増加分の仕分け子の場合は、「*」を入力 （３）情報仕分けの場合は、入力不可		
6	*	仕分け子枝番	EDA	n	3			C											（１）取扱確認した貨物の仕分け子枝番を入力 （２）増加分の仕分け子の場合は、入力不可 （３）以下の形式で入力 999		
7	*	個数（仕分け子）	PSA	n	6			M											情報仕分けの場合は、CHS業務で入力された個数と等しいこと。		
8	*	重量（仕分け子）	WTA	n	8			M											整数部6桁、小数部1桁		
9	*	品名（仕分け子）	CMA	an	21			M													
10	*	事故貨物（仕分け子）	DMA	an	5			C										事故コード			
11	*	手作業記号（仕分け子）	MSA	an	1			C											（１）ロケーションの手作業管理の場合は、「M」を入力 （２）取扱場所が他所蔵置場所の場合は、入力不可		
12	*	終了表示（仕分け子）	END	an	1			C											（１）CHS業務により仕分けられた数より、実際の仕分数が少なかった場合は、仕分けをした最後の貨物の次欄に「E」を入力（「E」を入力した欄以降は仕分け実施処理対象外となる） （２）情報仕分けの場合は、先頭欄に入力不可		
13	*	ロケーション（仕分け子）	LOA	an	80			C											（１）以下の形式で入力 ロケーション、符号「,」、個数 例）ABC, 個数 ①ロケーション：3桁以上の英数字 ②個数：6桁以内の数字 ③単独ロケーション入力の場合、個数は省略可 ④複数ロケーション入力の場合、ロケーションと個数は対となっていること ⑤ロケーションと個数は「,」で区切ること （２）特殊貨物ロケーションコード（保管料対象）の場合 ロケーション（3桁）、符号「,」、個数 例）VAL（個数の省略可） VAL, 個数（複数ロケーション入力可） VAL／ABCD, 個数（「／」以降は自由入力） （３）SP貨物の場合は、先頭2桁に“SP”を入力 例）SPX（3桁で入力） （４）特殊貨物ロケーションコードは、5種類以内であること （５）スプリット貨物の場合、保税蔵置場単位のロケーション桁数の合計が80桁以下であること。 （６）取扱場所が他所蔵置場所の場合は、入力不可 （７）?を入力した場合は、上位欄のロケーション（仕分け子）を引き継ぐ （８）?を入力した場合は、上位欄に入力されたロケーションは単独ロケーションであること		